

2021年3月期 第2四半期決算 投資家向け説明会

2020年11月11日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供するものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びその関係会社を含むSBGの子会社（以下「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）とSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）を含み、それぞれSBIAとその関係会社によって運用されています。SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2を含む）、SBファンド運用会社（SBIAを含む）、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIAは、SBGから別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド1及びビジョンファンド2を含むSBIAによって運営されているSBファンドは、SBIA単独で運営されています。

本資料における為替換算レート

期中平均レート	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4
1米ドル	110.00	107.70	108.98	109.22	107.74	105.88		
1人民元	16.13	15.37	15.46	15.56	15.16	15.27		
期末レート	2019/6月末	2019/9月末	2019/12月末	2020/3月末	2020/6月末	2020/9月末	2020/12月末	2021/3月末
1米ドル				108.83		105.80		
1人民元				15.31		15.54		

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。

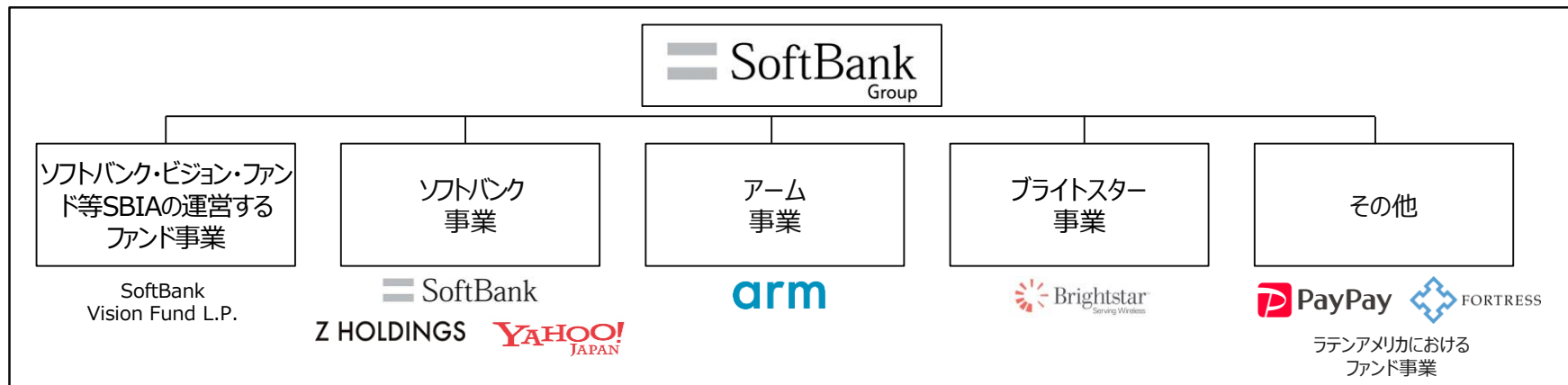
略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SBGC	SoftBank Group Capital Limited
SVF 1 or ソフトバンク・ビジョン・ファンド 1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF 2 or ソフトバンク・ビジョン・ファンド 2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.および代替の投資ビークル
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
スプリント	Sprint Corporation
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
アーム	Arm Limited
アリババ or Alibaba	Alibaba Group Holding Limited
WeWork	The We Company

經理編

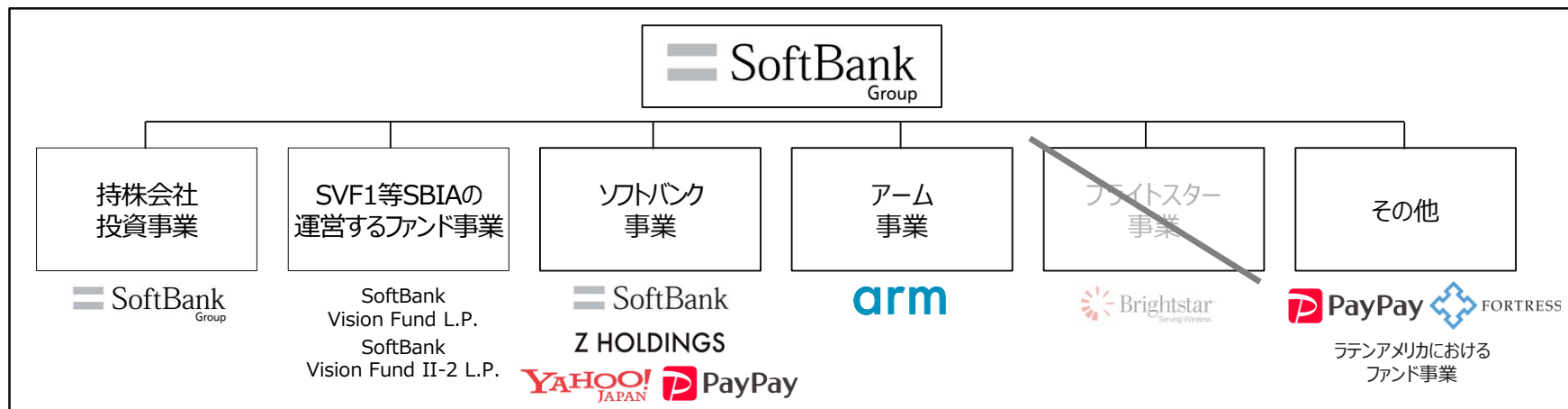
(億円)	FY19 Q1-Q2	FY20 Q1-Q2	増減額	増減率
売上高	25,397	26,305	908	3.6%
税引前利益	11,727	14,415	2,688	22.9%
当期純利益 (親会社所有者帰属分)	4,216	18,832	14,616	346.7%
(参考)				
投資損益合計	2,160	20,333	18,173	841.5%

- Q1に「**持株会社投資事業**」を報告セグメントとして新設。報告セグメントの利益を「税引前利益」に変更
- Q2に「**ブライトスター事業**」を除外。「ソフトバンク・ビジョン・ファンド等SBIAの運営するファンド事業」を「**SVF1等SBIAの運営するファンド事業**」へ名称変更

FY19



FY20



アーム全株式の売却 – 概要

- 2020年9月、アーム全株式のNVIDIAへの売却に合意
- 当社はNVIDIA株式の約6.7～8.1%を保有見込み: NVIDIAの筆頭株主として、NVIDIA株価上昇時はさらなるアップサイドを享受可能

(億米ドル)

取引価値		内容	受領時期
120	20	現金12.5: SBGCが売却対価の前受金として受領	FY20Q2 (2020年9月13日に受領)
		現金7.5: アームがライセンス契約の対価として受領	
	100	現金: SBGC/SVF1が受領	
215 ±α	NVIDIA株式 4,437万株: SBGC/SVF1が受領		クロージング時
最大50 ±α*1	NVIDIA株式 最大1,032万株または現金 アームのFY21売上高とEBITDA*2の目標値達成を条件にSBGC/SVF1が受領 (アーンアウト)		クロージング時 (アームによる目標値達成が条件)
計 385 ±α		当社受領対価	
15	アームの従業員へのNVIDIA株式報酬		クロージング時
合計 400 ±α			

当社が受領する
NVIDIAの株式数は同株価
484.60米ドル/株に基づく

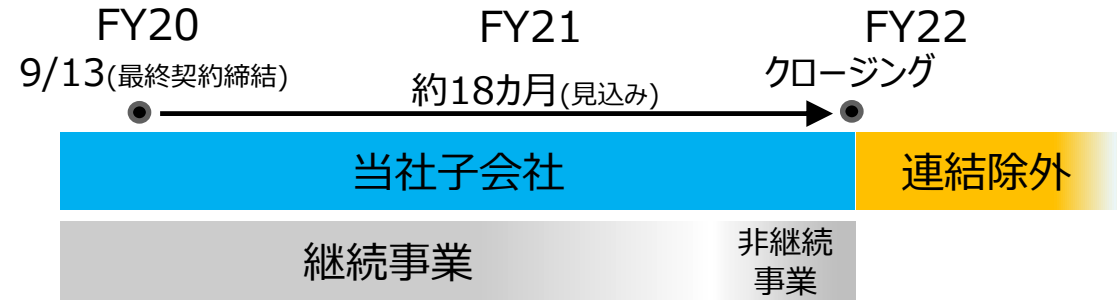
参考:11/9の終値
545.23米ドル/株

- ✓ 当社受領対価はSBGC/SVF1でアーム株式保有割合に応じ75.01%/24.99%の割合で受領
- ✓ SVF1の手取金はウォーターフォールに基づき当社を含むSVF1のリミテッド・パートナーに分配

- *1 株式で受領した場合
- *2 それぞれ一定の調整後。ISG事業帰属分を除く

アーム全株式の売却 – 経理処理

- ・アームは引き続き**継続事業** (規制当局の承認を得るなどクロージングの蓋然性が非常に高いと判断されるまで)
- ・クロージング時、アームは**連結対象から除外**:クロージングまでは**最終契約締結から約18カ月**を見込む

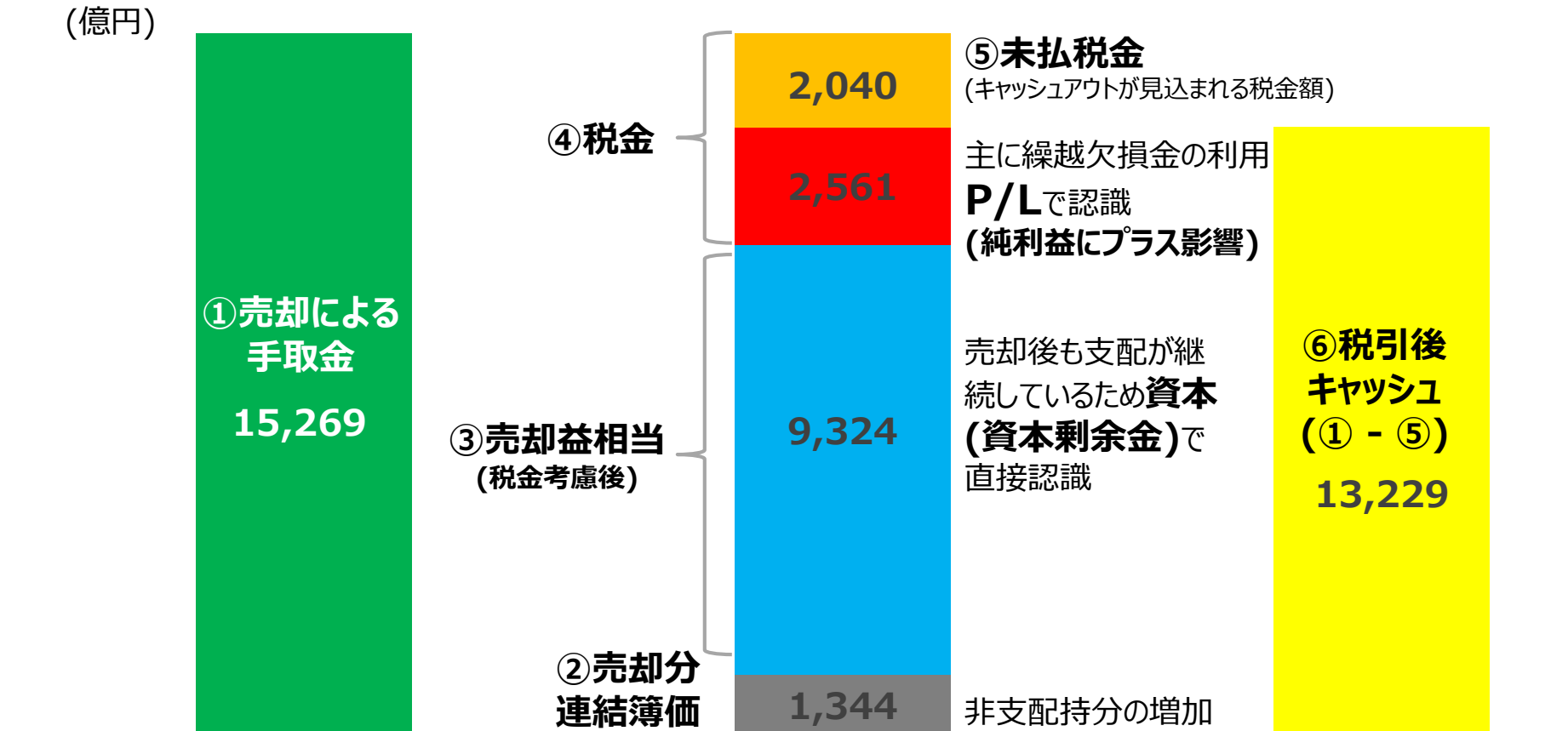


	当社連結		SVF1セグメント*
継続事業 (クロージングの蓋然性が非常に高いと判断されるまで)	アーム業績100%取り込み	のれんの減損テスト	アーム株式の公正価値の変動24.99%(SVF1保有分)を 投資損益に計上→連結P/L上は消去 (アームは当社子会社のため) (参考) 同変動分はウォーターフォールを通じて連結P/Lの「SVF1における外部投資家持分の増減額」には計上
非継続事業		資産・負債を売却目的保有の処分グループへ分類する際、 公正価値か簿価の低い方の金額で測定	
クロージング時	受領対価と簿価の差額を 支配喪失利益 として「非継続事業からの純利益」に計上		
連結除外後	受領するNVIDIA株式をFVTPLの金融資産に計上→ 公正価値の変動を純損益で認識		

*SVF1等SBIAの運営するファンド事業

SBKK株式一部売却の会計処理と税引後キャッシュ

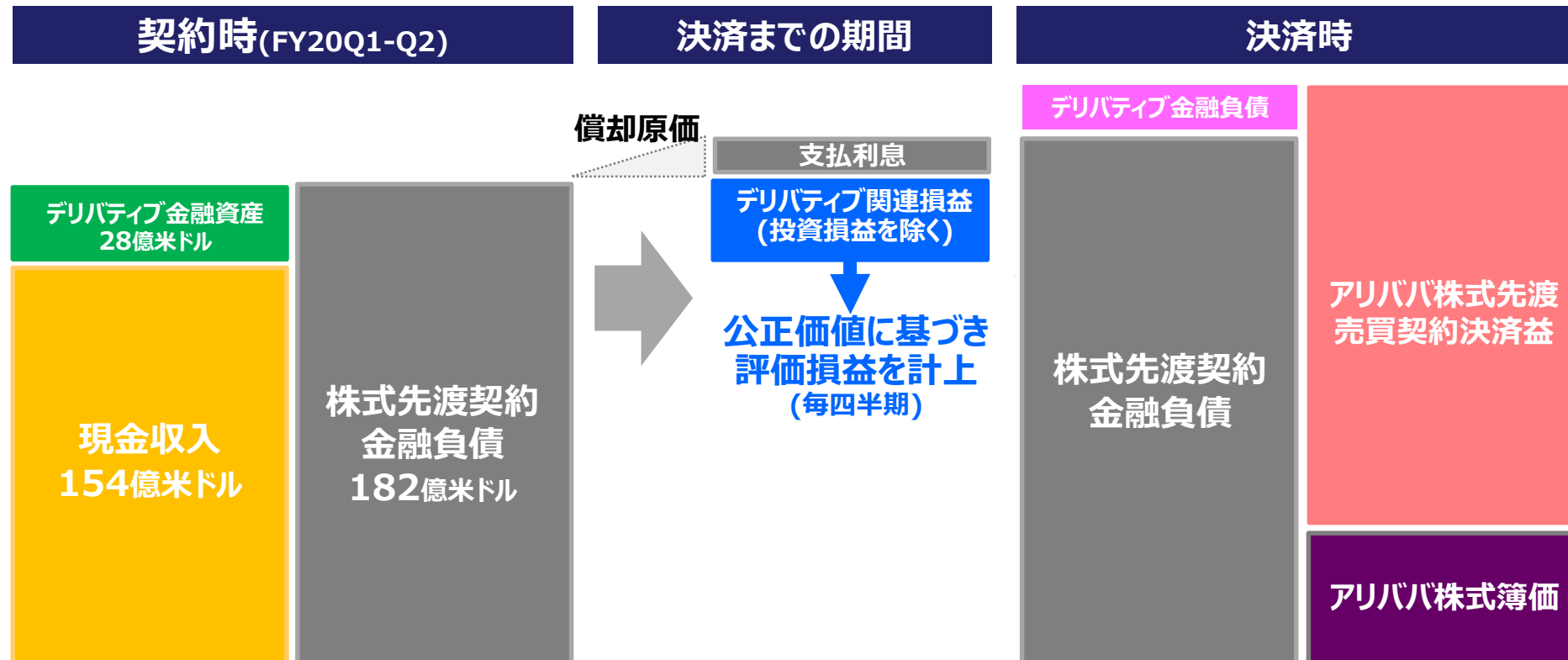
- 2020年5月と9月に、SBGJ(ソフトバンクグループジャパン(株))を通じて保有するSBKKの普通株式**合計12.7億株**を売却し、**合計1.5兆円**を受領
 - ✓ 5月、2.4億株(所有割合5.0%)を3,102億円で売却
 - ✓ 9月、10.3億株(所有割合21.7%)を1兆2,167億円で売却
- 売却後の所有割合: 40.2%**。SBKKは引き続き当社の子会社



※グラフ中の数値は5月と9月の売却の合算値

- 2020年4月～8月、SBG100%子会社*が、アリババ株式を利用した複数の先渡売買契約を締結し、**総額154億米ドルを調達**
- B/S: 株式先渡契約金融負債182億米ドル、デリバティブ金融資産28億米ドルの計上
- P/L: 評価損益を「デリバティブ関連損益(投資損益を除く)」に計上

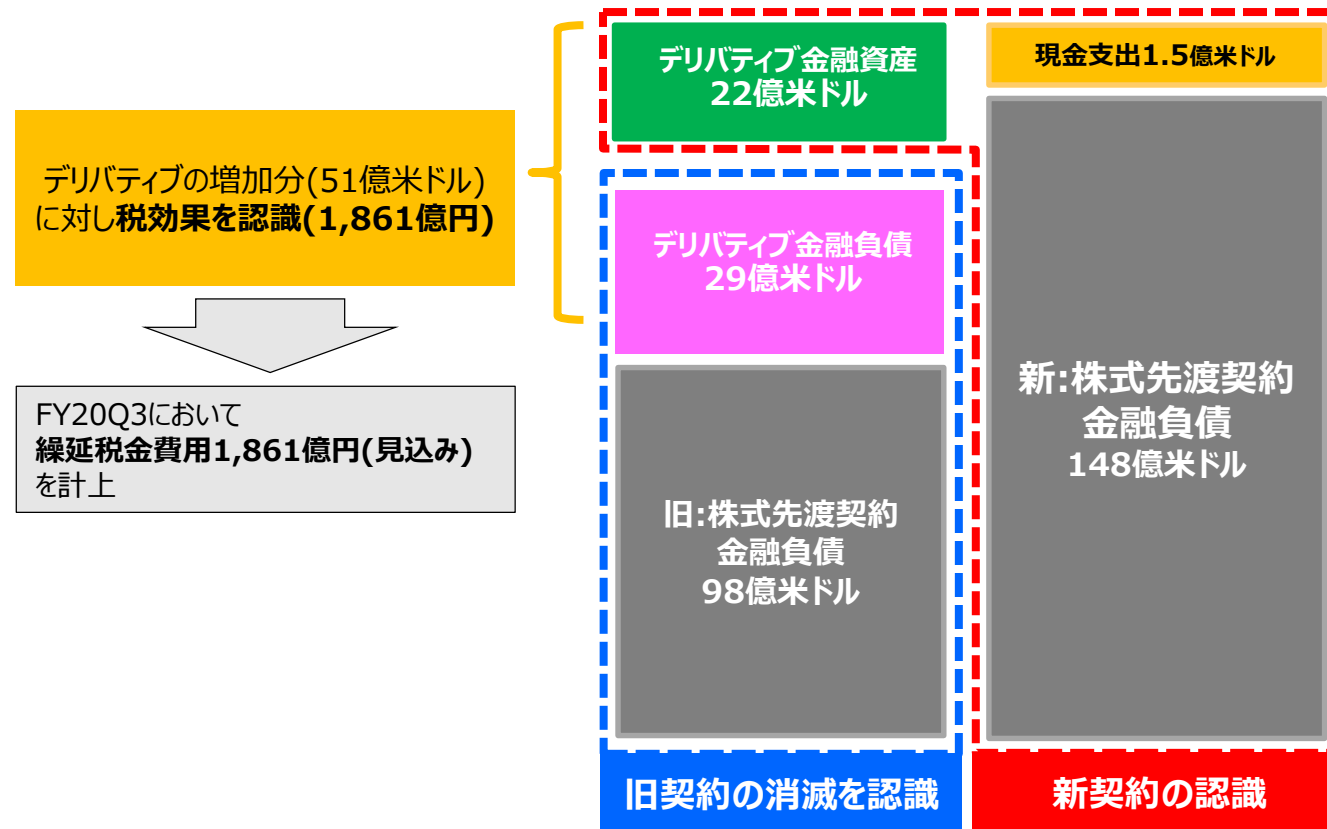
(参考)アリババ株式先渡売買契約(株式決裁の場合の概念図。FY20Q2末時点のアリババ株価に基づく)



*West Raptor Holdings 2, LLC, Skybridge LLC, Skylark 2020 Holdings Limited, Scout 2020 Holdings Limited, Tigress 2020 Holdings Limited

(Q3)アリババ株式先渡売買契約の契約変更

- 2020年10月に契約変更：2020年4月に締結の契約における決済株価のキャップとフロアを見直し
- 契約変更でFY20Q3に次の経理処理を行う予定
 - ✓ 取り崩し：株式先渡契約金融負債98億米ドル、デリバティブ金融負債(非流動)29億米ドル
 - ✓ 新たに計上：新契約の株式先渡契約金融負債148億米ドル、デリバティブ金融資産(非流動)22億米ドル
 - ✓ デリバティブ金融負債/金融資産の増減に伴い、繰延税金費用1,861億円(見込み)を計上



セグメント利益 – 持株会社投資事業

(億円)

P/L項目	FY19 Q1-Q2	FY20 Q1-Q2	摘要
投資損益	7,294	5,796	
Tモバイル株式売却関連損益	-	4,218	①Tモバイル株式売却益 2,803億円 ②引き続き保有するTモバイル株式に係る再測定益 2,960億円 ③Deutsche Telekom AG(ドイツテレコム)が受領した当社保有Tモバイル株式の購入オプションに係るデリバティブ関連損失 1,545億円 ④2020年7月と8月のTモバイル株式売却による実現損失 31億円、デリバティブ負債の認識の中止に伴うデリバティブ関連利益 30億円
アリババ株式先渡売買契約決済益	12,185	-	
資産運用子会社からの投資の売却による実現損益	-	-81	SB Northstar(資産運用子会社)からの投資の売却による実現損失(上場株式への投資)
資産運用子会社からの投資の未実現評価損益	-	-951	SB Northstarからの投資の未実現評価損失(上場株式への投資)
資産運用子会社からの投資に係るデリバティブ関連損益	-	-2,923	SB Northstarにおいて上場株式に係るコールオプションや売建株価指数先物取引に係る損失
投資の売却による実現損益	272	1,636	FY20Q1-Q2: SBGからの上場株式への投資の実現利益 1,672億円
投資の未実現評価損益	-3,999	2,346	FY20Q1-Q2: ・引き続き保有するTモバイル株式に係る未実現評価益 1,001億円(6月26日からFY20Q2末まで) ・SBGからの上場株式への投資に係る未実現評価益 966億円
投資に係るデリバティブ関連損益	-1,190	1,517	FY20Q1-Q2: 条件付対価(スプリント/T-Mobile US, Inc.合併取引の対価として受領した一定の条件を満たした際にTモバイル株式を無償で取得できる権利)の公正価値の上昇 1,770億円
その他	26	35	
販売費及び一般管理費	-343	-529	
財務費用	-972	-1,082	
持分法による投資損益	4,537	1,946	FY20Q1-Q2: アリババの持分法投資利益 1,678億円 (FY19Q1-Q2: アリババによるAnt Financial*1株式取得に伴う利益 2,772億円)
デリバティブ関連損益(投資損益を除く)	74	-7,624	FY20Q1-Q2: 2019年11月と2020年4~8月に締結のアリババ株式の先渡売買契約に関するデリバティブ関連損失 7,664億円
その他の損益	367	1,746	FY20Q1-Q2: WeWorkに係る損失評価引当金戻し入れ*2 798億円
セグメント利益(税引前利益)	10,958	253	

*1 Ant Small and Micro Financial Services Group Co., Ltd. (現 Ant Group Co., Ltd)

*2 当社による金融機関からWeWorkへの支払保証枠に対するクレジットサポート、および当社100%子会社によるWeWorkの無担保債券の買い受けについて、FY19Q4に損失評価引当金繰入額をそれぞれ523億円、902億円計上したが、同社の信用リスクが改善したことなどにより、FY20Q1-Q2にそれぞれ215億円、584億円を戻し入れた

- 主な事業内容: ソフトバンクグループ(株)およびその子会社による投資事業
- 主な会社: ソフトバンクグループ(株)、SBGC、SBGJ、SB Northstar



- **保有資産の多様化と余剰資金の運用**を目的に、当初はSBGが直接投資。Q2から**新会社のSB Northstar**が受け継ぎ活動
- SB Northstarは**上場株式の取得と売却、上場株式に関連するデリバティブ取引と信用取引を実施**
- 計上科目は以下の通り

SBG (FY20Q1~)

B/S	非流動資産 投資有価証券
P/L	持株会社投資事業からの投資損益 ・投資の売却による実現損益 ・投資の未実現評価損益
C/F	投資活動によるC/F ・投資の取得による支出 ・投資の売却または償還による収入

SB Northstar (FY20Q2~)

B/S	流動資産 ・資産運用子会社からの投資 ・資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産 ・その他の金融資産(差入証拠金、担保差入有価証券、拘束性預金)
B/S	流動負債 ・資産運用子会社におけるデリバティブ金融負債 ・その他の金融負債(借入有価証券)
P/L	持株会社投資事業からの投資損益 ・資産運用子会社からの投資の売却による実現損益 ・資産運用子会社からの投資の未実現評価損益 ・資産運用子会社からの投資に係るデリバティブ関連損益
C/F	営業活動によるC/F →SB Northstarは主たる事業として有価証券の売買を繰り返し行うため、同社による投資は営業C/Fに計上

上場株式等への投資におけるB/SとP/L(投資損益)への主な影響

(億円)

投資元	投資種別	連結B/S 計上科目	連結B/S残高 (マイナスは負債)	連結P/L 計上科目	連結P/L 計上損益額		
			FY20Q2末		Q1	Q2	FY20 Q1-Q2
SBG	現物株式	投資有価証券	150	投資の売却による実現損益	645	1,028	1,672
				投資の未実現評価損益	209	757	966
SB Northstar	現物株式	資産運用子会社 からの投資	15,518	資産運用子会社からの 投資の売却による実現損益	-	-81	-81
				担保差入有価証券 (その他の金融資産)	2,133	資産運用子会社からの 投資の未実現評価損益	-
	信用取引	借入有価証券 (その他の金融負債)	*1 -4,346				
	デリバ ティブ	上場株式に係る 買建コール オプション	資産運用子会社における デリバティブ金融資産	4,966			
		上場株式に係る 売建コール オプション	資産運用子会社における デリバティブ金融負債	-1,335	資産運用子会社からの 投資に係るデリバティブ 関連損益	-	-2,923
	売建株価指数 先物取引		-736				
				持株会社投資事業からの 投資損益	854	-2,170	-1,317
				非支配持分に帰属する 投資損益*2	-	1,318	1,318
				親会社の所有者に帰属する 投資損益*3	854	-852	2

*1 売建信用取引で借り入れた有価証券の公正価値

*2 SB Northstarの投資損益の33%

*3 販売費及び一般管理費や税金費用などの影響を含まない

SB Northstarのデリバティブ価格感応度(FY20Q2末時点)

SB Northstarにおける上場株式の取得および売却に係るオプション、および株価指数先物において、他のすべての変数が一定であると仮定した上で、市場価格が変動した場合の税引前利益に与える影響は、以下の通り

(億円)

FY20Q2末時点	期末日時点の 公正価値 (マイナスは負債)	市場価格 変動の仮定	仮定考慮後の 見積公正価値 (マイナスは負債)	税引前利益への 影響	想定元本
資産運用子会社における 上場株式に係る 買建コールオプション	4,966	30%増加	20,408	15,441	76,252
		10%増加	8,935	3,968	
		10%減少	2,413	-2,554	
		30%減少	354	-4,612	
資産運用子会社における 上場株式に係る 売建コールオプション	-1,335	30%増加	-7,323	-5,988	50,322
		10%増加	-2,666	-1,331	
		10%減少	-566	769	
		30%減少	-46	1,289	
資産運用子会社における 売建株価指数先物取引	-736	30%増加	-6,720	-5,984	19,184
		10%増加	-2,730	-1,995	
		10%減少	1,259	1,995	
		30%減少	5,248	5,984	

連結P/L総括 IFRSベース

P/L項目	FY19 Q1-Q2	FY20 Q1-Q2	増減
継続事業			
売上高	25,397	26,305	+908
売上総利益	13,148	14,198	+1,050
投資損益			
持株会社投資事業からの投資損益	+7,294	+5,796	-1,498
SVF1およびSVF2からの投資損益	-5,293	+13,366	+18,659
その他の投資損益	+159	+1,171	+1,012
投資損益合計	2,160	20,333	+18,173
販売費及び一般管理費	-9,154	-10,113	-959
財務費用	-1,406	-1,538	-132
持分法による投資損益	+4,540	+2,008	-2,532
デリバティブ関連損益(投資損益を除く)	+77	-7,616	-7,693
SVF1における外部投資家持分の増減額	+1,808	-4,575	-6,383
その他の損益	+555	+1,717	+1,162
税引前利益	11,727	14,415	+2,688
法人所得税	-5,915	-2,723	+3,192
継続事業からの純利益	5,812	11,692	+5,880
非継続事業			
非継続事業からの純利益	-490	7,102	+7,592
純利益	5,322	18,794	+13,472
親会社の所有者に帰属する純利益	4,216	18,832	+14,616

(億円)

持株会社投資事業からの投資損益 +5,796億円 (詳細はp9、12、24参照)

- ・Tモバイル株式売却関連利益 4,218億円
- ・引き続き保有するTモバイル株式に係る未実現評価益 1,001億円
- ・条件付対価*1の公正価値上昇に伴うデリバティブ関連利益 1,770億円
- ・上場株式等への投資損失 1,317億円

SVF1およびSVF2からの投資損益 +13,366億円 (詳細はp19参照)

- ・投資の売却による実現益 1,414億円
- ・FY20Q2末に保有の投資に係る未実現評価益(純額) SVF1で7,299億円*2、SVF2で5,372億円

財務費用 -1,538億円(YoY 132億円増加)

持分法による投資損益 +2,008億円(YoY 2,532億円減少)

アリババの持分法投資利益 1,678億円 (FY19Q1-Q2はアリババによる Ant Financial*3株式取得に伴う利益2,772億円を計上)

デリバティブ関連損益(投資損益を除く) -7,616億円(YoY 7,693億円悪化)

2019年11月と2020年4~8月に締結のアリババ株式先渡売買契約に関するデリバティブ関連損失 7,664億円

法人所得税

SBKK株式の一部売却により、SBGJにおいて繰延税金資産を認識していなかった繰越欠損金を使用できる課税所得が生じる可能性が高まったと判断したことなどにより利益方向に2,561億円計上 (詳細はp6参照)

非継続事業からの純利益 +7,102億円

スピントの支配喪失利益 7,214億円

*1 スプリント/T-Mobile US, Inc.合併取引の対価として受領した一定の条件を満たした際にTモバイル株式を無償で取得できる権利

*2 アーム株式に係る投資損益は含まない

*3 Ant Small and Micro Financial Services Group Co., Ltd. (現 Ant Group Co., Ltd)

※+:利益にプラス、-:利益にマイナス

連結B/S総括 IFRSベース -1

B/S項目	主な科目	2020/3月末	2020/9月末	増減
		156,369	104,063	-52,306
流動資産	現金及び現金同等物	33,690	51,052	+17,362
	資産運用子会社からの投資	-	A 15,518	+15,518
	資産運用子会社におけるデリバティブ金融資産	-	B 4,966	+4,966
	その他の金融資産	3,135	C 7,773	+4,638
	その他の流動資産	4,610	1,772	-2,838
	売却目的保有に分類された資産	92,360	2,162	-90,198
		216,203	252,419	+36,216
非流動資産	有形固定資産	12,645	14,404	+1,759
	使用権資産	12,937	12,225	-712
	のれん	39,982	39,413	-569
	無形資産	19,860	18,995	-865
	持分法で会計処理されている投資	32,404	35,056	+2,652
	FVTPLで会計処理されているSVF1およびSVF2からの投資	68,922	79,494	+10,572
	SVF1	66,817	71,405	+4,588
	SVF2	2,106	8,089	+5,983
	投資有価証券	12,115	28,925	+16,810
	デリバティブ金融資産	593	5,515	+4,922
その他の金融資産	11,007	12,578	+1,571	
	資産合計	372,573	356,482	-16,091

(億円)

主に4.5兆円プログラムに基づく資産売却と資金化による増加

1

SB Northstarからの投資に係る流動資産

- A: 上場株式
- B: 上場株式に係る買建コールオプション
- C: 担保差入有価証券 2,133億円、差入証拠金 2,444億円、拘束性預金 1,058億円

2

- FY19Q4末: スプリント非継続化 (FY20期首に連結除外)
- FY20Q2末: ブライトスター非継続化

参考: アリババ株式の簿価 3兆1,094億円 (FY20Q2末)

3

FVTPLで会計処理されているSVF1およびSVF2からの投資 7兆9,494億円 (1兆572億円増加)

主に投資先の公正価値が増加 (詳細はp19参照)

4

投資有価証券 2兆8,925億円 (1兆6,810億円増加)

- 一部売却後に引き続き保有するTモバイル株式 +1兆2,861億円
- ラテンアメリカのファンド事業による投資 +1,052億円

以下に関するデリバティブ金融資産の増加

- 条件付対価(スプリント/T-Mobile US, Inc.合併取引の対価として受領した一定の条件を満たした際にTモバイル株式を無償で取得できる権利) 3,734億円
- アリババ株式を利用した複数の先渡し買契約 1,015億円

連結B/S総括 IFRSベース -2

B/S項目	主な科目	2020/3月末	2020/9月末	増減	(億円)
流動負債		141,911	75,993	-65,918	
	有利子負債	38,452	A 29,008	-9,444	1
	リース負債	3,784	3,382	-402	
	銀行業の預金	8,731	10,461	+1,730	
	営業債務及びその他の債務	15,853	13,301	-2,552	1
	資産運用子会社におけるデリバティブ金融負債	-	B 2,070	+2,070	
	デリバティブ金融負債	93	1,814	+1,721	
	その他の金融負債	2,480	C 5,804	+3,324	1
	未払法人所得税	1,643	3,866	+2,223	
	その他の流動負債	5,965	4,507	-1,458	
売却目的保有に分類された資産に直接関連する負債	64,550	1,348	-63,202	2	
非流動負債		156,932	196,283	+39,351	
	有利子負債	92,867	3 115,068	+22,201	3
	リース負債	7,619	7,521	-98	
	SVF1における外部投資家持分	45,597	52,449	+6,852	
	デリバティブ金融負債	1,281	6,138	+4,857	
	繰延税金負債	7,112	9,678	+2,566	
	その他の非流動負債	796	2,962	+2,166	
負債合計		298,844	272,276	-26,568	

1 SB Northstarからの投資に係る流動負債
 A: 上場株式の取引への使用を目的とした短期借入金 3,643億円
 B: 上場株式に係る売建コールオプションと売建株価指数先物取引の公正価値
 C: 売建信用取引で借り入れた有価証券の公正価値 4,346億円

ブライトスターの営業債務(FY20末時点:1,427億円)を売却目的保有に分類された資産に直接関連する負債へ振り替え

ドイツテレコムが受領した当社保有Tモバイル株式の購入オプションに係るデリバティブ金融負債の計上 1,787億円

SBGJで生じたSBKK株式売却益などに対する未払税金相当額の計上

FY19のヤフーからZホールディングスへの配当に係る源泉所得税納付による減少 1,021億円

2 FY19Q4末: スプリント非継続化 (FY20期首に連結除外)
 FY20Q2末: ブライトスター非継続化

3 有利子負債(非流動) 11兆5,068億円 (2兆2,201億円増加)
 アリババ株式先渡売買契約に伴う株式先渡契約金融負債の計上による増加

アリババ株式を利用した複数の先渡売買契約に係るデリバティブ金融負債の増加 5,370億円

SBGの繰延税金負債が増加

アーム全株式売却に係る前受金12.5億米ドルの計上を含む

※有利子負債とリース負債の会社別内訳は決算短信p39参照 経理編 16

連結B/S総括 IFRSベース -3

B/S項目	主な科目	2020/3月末	2020/9月末	増減
		73,729	84,206	+10,477
資本	資本金	2,388	2,388	-
	資本剰余金	14,903	23,880	+8,977
	その他の資本性金融商品※	4,969	4,969	-
	利益剰余金	39,458	57,689	+18,231
	自己株式	-1,016	-11,133	-10,117
	その他の包括利益累計額	-3,623	-4,716	-1,093
	売却目的保有に分類された資産に直接関連するその他の包括利益累計額	2,057	-49	-2,106
	親会社の所有者に帰属する持分合計	59,136	73,028	+13,892
	非支配持分	14,593	11,179	-3,414
	親会社の所有者に帰属する持分比率 (自己資本比率)	15.9%	20.5%	+4.6%

(億円)

SBKK株式の一部売却に伴う支配継続子会社に対する持分変動 +9,324億円

1 親会社の所有者に帰属する純利益 +1兆8,832億円

2 FY20Q1-Q2の取得額 1兆241億円
(内訳)
 ・2020年3月13日の取締役会決議分 4,840億円
 ・2020年5月15日の取締役会決議分 5,000億円
 ・2020年6月25日の取締役会決議分 401億円

FY19Q4末: スプリント非継続化 (FY20期首に連結除外)
 FY20Q2末: プライスター非継続化

・スプリント連結除外の影響 -4,247億円
 ・SBKK株式の一部売却に伴う増加 1,344億円

※SBGが2017年7月に発行した米ドル建永久劣後特約付社債。IFRS上資本性金融商品に分類

C/F項目	FY20 Q1-Q2	(億円)	
営業活動によるCF	5,319	7,837	営業キャッシュ・フロー小計
		-1,327	利息の支払額
		-3,948	法人所得税の支払額
		2,615	法人所得税の還付額
投資活動によるCF	-3,222	-30,076	投資の取得による支出
		28,880	投資の売却または償還による収入
		-2,200	SVF 1 およびSVF 2 による投資の取得による支出
		2,815	SVF 1 による投資の売却による収入
		-3,392	有形固定資産及び無形資産の取得による支出
財務活動によるCF	15,911	7,890	短期有利子負債の収支
		36,576	有利子負債の収入
		-34,088	有利子負債の支出
		-2,146	リース負債の返済による支出
		7,647	SVF 1 における外部投資家からの払込による収入
		-4,215	SVF 1 における外部投資家に対する分配額・返還額
		15,269	非支配持分への子会社持分の一部売却による収入
-10,241	自己株式取得による支出		
現金及び現金同等物の期首残高	33,690		
現金及び現金同等物の期末残高	51,052		

SB Northstarは主たる事業として有価証券の売買を繰り返し行うため、同社による投資は営業C/Fに計上される

投資の取得による支出 -3兆76億円

SBGが保有資産の多様化と余剰資金の運用を目的に流動性の高い上場株式を取得
-2兆7,054億円

投資の売却または償還による収入 +2兆8,880億円

- ・上記上場株式の一部売却 +6,757億円
- ・Tモバイル株式の一部売却 +2兆997億円

有利子負債の収入 +3兆6,576億円

(SBG)

短期借入れ +3,614億円

(資金調達を行う当社100%子会社)

- ・Tモバイル株式を活用した借入れ(マージン・ローン) +4,380百万米ドル
- ・アリババ株式を利用した複数の先渡売買契約締結による調達 +15,445百万米ドル

(SBKK、Zホールディングス)

・SBKK: 借入れ +4,205億円、社債発行 +1,000億円

・Zホールディングス: 短期借入れ +1,597億円、社債発行 +2,000億円

有利子負債の支出 -3兆4,088億円

(SBG)

短期借入金の返済 -4,474億円、シニアローン返済 -3,599億円、

社債償還 -2,676億円

(資金調達を行う当社100%子会社)

アリババ株式を活用した借入れ(マージン・ローン)の全額返済 -9,444百万米ドル

(SVF1)

・ファンド・レベル・ファシリティーによる借入れの返済 -3,080百万米ドル

・ポートフォリオ・ファイナンス・ファシリティーによる借入れの返済 -789百万米ドル

(SBKK、Zホールディングス)

SBKK: 借入れの返済 -3,949億円

Zホールディングス: 短期借入れの返済 -3,456億円

SBKK株式の一部売却

セグメント利益 – SVF1等SBIAの運営するファンド事業

(億円)

P/L項目	FY19 Q1-Q2	FY20 Q1-Q2	摘要
SVF1およびSVF2からの投資損益	-5,293	14,116	
投資の売却による実現損益	348	1,414	SVF1: 投資先4銘柄の一部株式と6銘柄の全株式を売却(株式の交換を含む)
投資の未実現評価損益	-5,737	12,606	
当期計上額	-5,379	13,420	FY20Q2末に保有する投資の未実現評価益(純額) SVF1: 8,048億円(7,563百万米ドル) ・上場投資先: 合計3,517百万米ドル ・非上場株式: 合計4,046百万米ドル SVF2: 5,372億円(5,074百万米ドル) KE Holdings Inc.の上場後の株価上昇による増加 5,068百万米ドル (詳細は決算短信p25-27参照)
過年度計上額のうち実現損益への振替額	-358	-814	SVF1がFY20Q1-Q2に売却した投資に係る未実現評価損益の過年度計上額を「投資の売却による実現損益」に振り替えた金額
投資先からの受取配当金	83	46	
投資に係るデリバティブ関連損益	-	11	
為替換算影響額	13	39	
販売費及び一般管理費	-430	-344	SBIA、SVF1とSVF2の管理費用
財務費用	-92	-62	借入の支払利息
SVF1における外部投資家持分の増減額	1,808	-4,575	SVF1からの投資損益からSBIAへの管理報酬および成功報酬、SVF1の営業費用ならびにその他の費用を控除した金額を、持分に応じて外部投資家に分配した成果分配額および固定分配額の合計
その他の損益	7	6	
セグメント利益(税引前利益)	-4,000	9,140	

Appendix

のれん・無形資産の内訳

(億円)

B/S 項目	主な内訳	2020/ 3月末	2020/ 9月末	増減			摘要	
				償却費	為替変動	その他		
のれん *1		39,982	39,413					
	アーム	25,541	25,159	-	-382	-		
	SBKK	9,075	9,075	-	-	-		
	ZOZO	2,129	2,129	-	-	-		
主な無形資産	テクノロジー	3,956	3,708					
	主な内訳	アーム	3,878	3,798	-184	+104	-	定額法 償却年数:8-20年
	顧客基盤	4,747	4,492					
	主な内訳	ZOZO	3,167	3,101	-66	-	-	定額法 償却年数:18-25年
	主な内訳	アーム	1,033	969	-55	-9	-	定額法 償却年数:13年
	商標権	2,211	2,155					
	主な内訳	ZOZO	1,787	1,787	-	-	-	
	マネジメント契約	462	357					
	フォートレス	462	357	-93	-12	-	定額法 償却年数:3-10年	

*1 SBGによる支配獲得時に認識したのれんの金額。支配獲得後に当該子会社が行ったM&Aの結果認識したのれんは含まない

※アームはFY20Q1に機能通貨を英ポンドから米ドルへ変更

連結P/Lの表示変更

- FY20Q1より新たに「投資損益」を表示
- 営業利益を取り止め

- スプリント/T-Mobile US, Inc.の合併完了でスプリントが子会社から除外され**連結業績全体に占める投資損益の重要性が一層高まった**



- 「投資損益」の区分を新設し**P/Lで投資の成果を明示**
- 「投資損益」には①～④を含む
 - ① 投資有価証券(FVTPLの金融資産)や持分法で会計処理されている投資の売却による実現損益
 - ② FVTPLの金融資産の未実現評価損益
 - ③ 投資先からの受取配当金
 - ④ FVTPLの金融資産などの投資に係るデリバティブ関連損益

表示変更後のP/L

売上高

売上総利益

投資損益

- 持株会社投資事業からの投資損益
- SVF1およびSVF2からの投資損益
- その他の投資損益

- 販売費及び一般管理費
- 財務費用
- 持分法による投資損益
- デリバティブ関連損益(投資損益を除く)* ほか

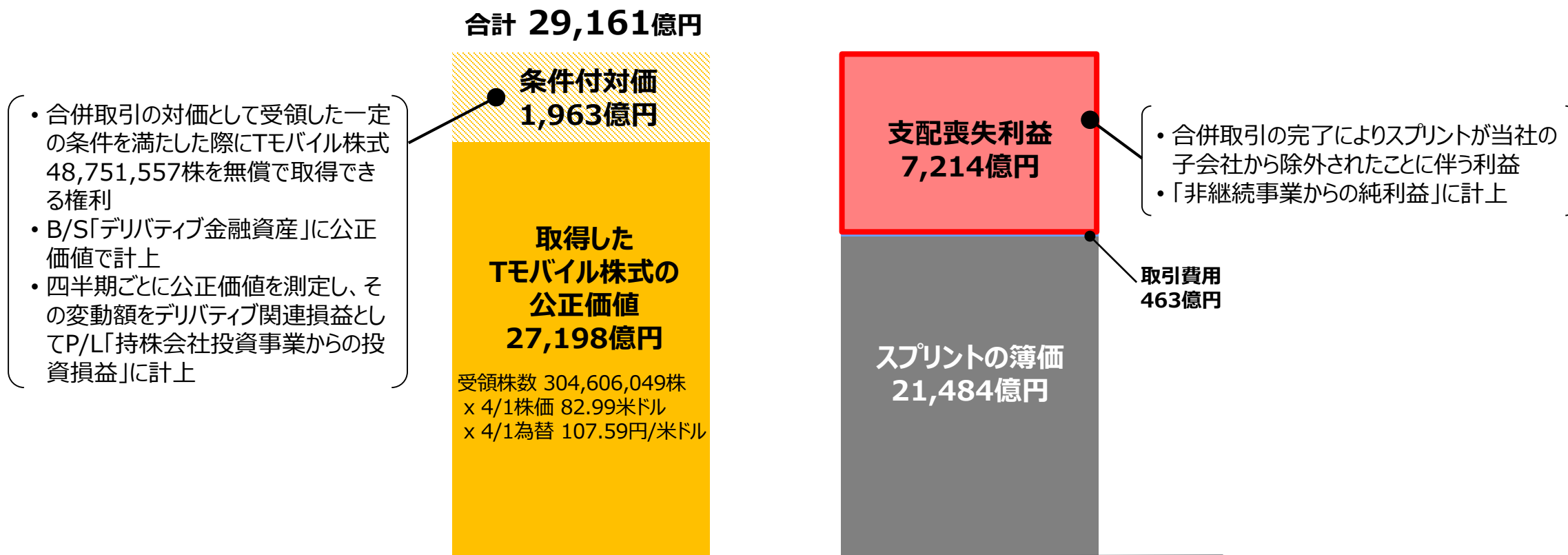
税引前利益

親会社の所有者に帰属する純利益

*投資損益に含まれないデリバティブ関連損益は「デリバティブ関連損益(投資損益を除く)」として表示

スプリント/T-Mobile US, Inc.の合併完了

- 2020年4月1日、スプリントとT-Mobile US, Inc.の合併取引が完了
- Tモバイル株式304,606,049株と条件付対価(一定条件下で48,751,557株を無償で取得できる権利)を受領
- スプリントを子会社から除外、Tモバイルが持分法適用関連会社に



Tモバイル株式の一部売却と期末評価

FY20Q1の①②売却で1兆8,304億円、Q2の③④売却を加えFY20Q2累計で**2兆997億円**を受領

	株式数 (百万株)	比率*1	売却 総額 (百万米ドル)	売却 日	P/L (FY20Q1-Q2) (億円)					FY20Q2末 B/S影響
					Tモバイル株式売却関連利益			Q2末評価		
					売却損益	残存株式の 再測定益	デリバティブ 関連損益	評価損益	デリバティブ 関連損益	
売却前	305	24.7%								
①公募売却	-154	-12.5%	15,877	6/26	2,803					(資産) ・⑤⑥の株式→「投資有 価証券」に計上(1.3兆 円) ・⑦「デリバティブ金融資 産」に計上(3,734億 円) 4/1計上1,963億円(p23 参照)+Q2末までの公正価 値の変動1,770億円
②私募売却	-19	-1.6%	1,667							
③マルセロ・クラウレへの 売却	-5	-0.4%	515	7/16	-31		30 (デリバティブ 負債認 識中止)		-252	(負債) ⑤「デリバティブ金融負債」 に計上(1,787億円) 6/26売却時のデリバティブ関 連損失 -1,545億円+Q2 末までの公正価値の変動 -260億円+為替影響
④ライツ・オフリング	-20	-1.6%	2,034	8/3						
小計	106	8.6%				2,960		1,001		
⑤ドイツテレコムへの株式 購入オプションの付与	-101	-8.2%						-1,545		
⑥ ⑤を除く所有株式	5	0.4%								
⑦条件付対価	+49	-							1,770	
⑦を取得した場合の合計	54	-							4/1からQ2末 までの変動	
					合計4,218億円					

*1 2020年4月1日時点のTモバイルの発行済株式総数(自己株式除く)に対する比率

※2020年7月30日、SBG100%子会社が保有するTモバイル株式を担保に43.8億米ドルの借入れ(マージン・ローン)を実施

PayPay(株)は2018年6月の設立から一貫してソフトバンクグループ(株)の子会社として連結

		FY18	FY19	FY20
	議決権割合	2019/5/15 SBKK:50% ヤフー(現Zホールディングス):50%		
	報告主体	SBG	子会社(その他事業)	子会社(その他事業)
		SBKK	子会社	持分法適用会社